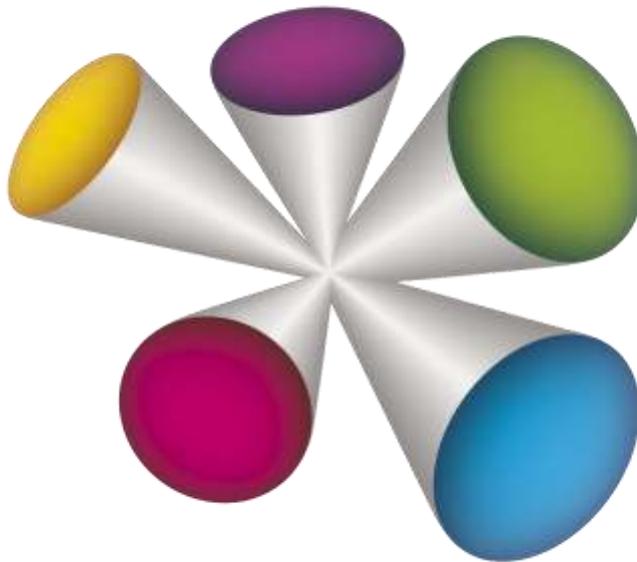


第28期(2011年3月期) 連結決算説明

株式会社ワコム
(東証1部:6727)



第28期(2011年3月期)連結決算のまとめ

世界経済は新興地域の成長が継続する一方、先進地域は本格的な回復に至らず、大幅な円高も進行。さらに、東日本大震災の発生によって国内経済のみならず、グローバル・サプライチェーンにも大きな影響が発生した。このような事業環境のなか、クリスマス商戦期での堅調なタブレットの売上拡大とコンポーネントのマルチタッチセンサーの量産化、コスト管理などにより前期比で増収増益となった。

| | |
|-----------|-------|
| 売上高は前期比 | 3.2%増 |
| 営業利益は前期比 | 5.0%増 |
| 経常利益は前期比 | 7.6%増 |
| 当期純利益は前期比 | 0.9%増 |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 第27期 | 第28期 | 対前期比較 | |
|--------|----------|----------|-------|-------|
| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 32,045 | 33,075 | 1,031 | 3.2% |
| 売上総利益 | 15,668 | 15,667 | △ 2 | △0.0% |
| 売上総利益率 | 48.9% | 47.4% | | |
| 営業利益 | 3,128 | 3,284 | 156 | 5.0% |
| 営業利益率 | 9.8% | 9.9% | | |
| 経常利益 | 3,156 | 3,396 | 239 | 7.6% |
| 当期純利益 | 1,968 | 1,987 | 18 | 0.9% |

- 通期平均為替レート：第27期 1ドル 93.04円、1ユーロ 130.62円
第28期 1ドル 85.82円、1ユーロ 113.56円

為替変動影響(円高)：売上高 25.3億円減(-7.9%相当)
営業利益 9.4億円減(-30.1%相当)

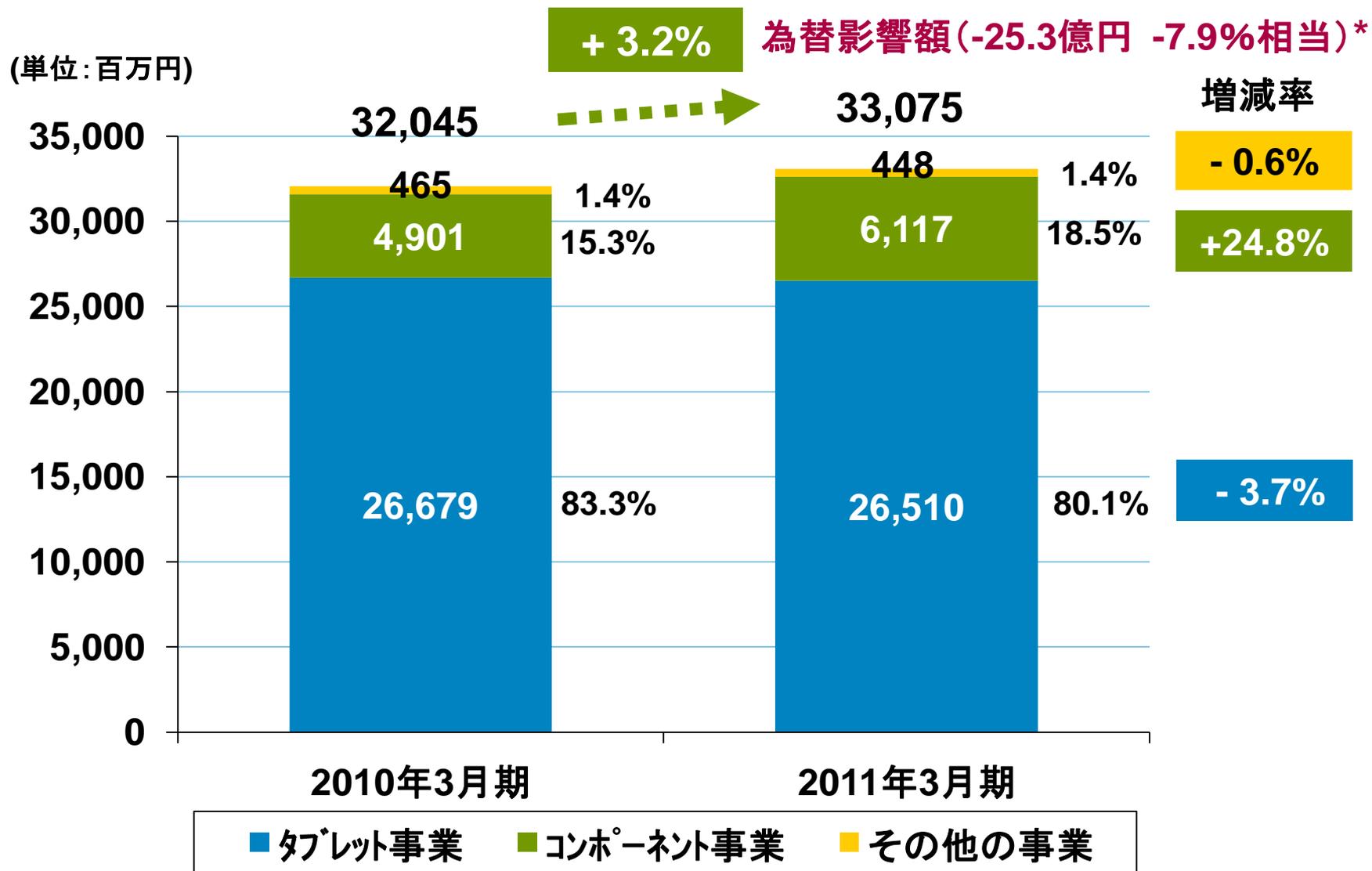
連結事業別セグメント

(単位:百万円)

| | 第27期 | 第28期 | 対前期比較 | |
|-----------|----------|----------|-------|-------|
| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 32,045 | 33,075 | 1,030 | 3.2% |
| タブレット事業 | 26,679 | 26,510 | △169 | △0.6% |
| コンポーネント事業 | 4,901 | 6,117 | 1,216 | 24.8% |
| その他の事業 | 465 | 448 | △17 | △3.7% |
| 営業利益 | 3,128 | 3,284 | 156 | 5.0% |
| タブレット事業 | 5,812 | 5,662 | △150 | △2.6% |
| コンポーネント事業 | △617 | △236 | 381 | - |
| その他の事業 | △424 | △150 | 274 | - |
| コーポレート他 | △1,643 | △1,992 | △349 | 21.2% |
| 営業利益率 | 9.8% | 9.9% | | |

(注)28期よりマネジメント・アプローチの適用に伴い、報告セグメントをタブレット事業、コンポーネント事業及びその他の事業の3事業に区分しています。

連結売上高比較

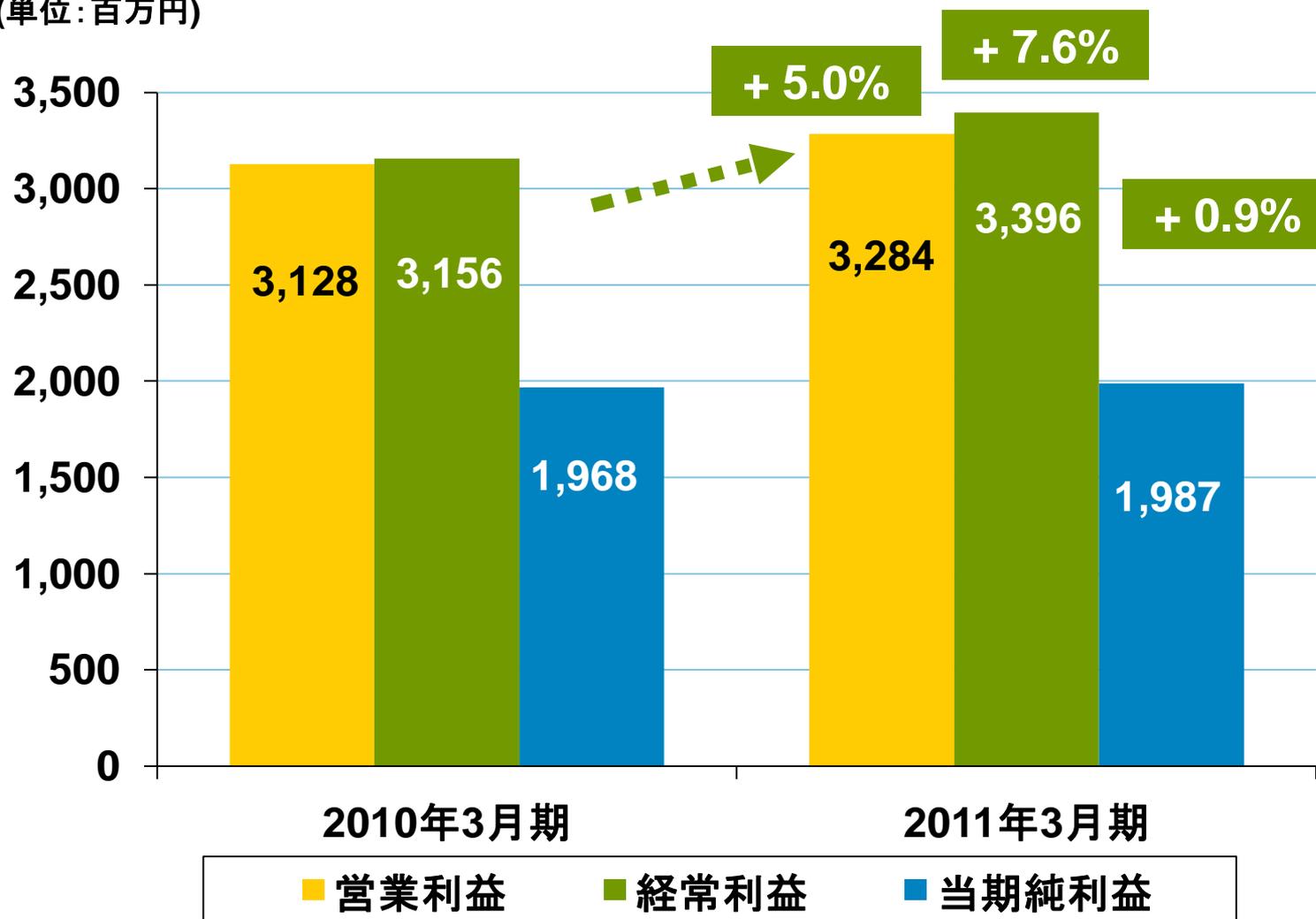


*為替影響除く、概算売上高 35,605

連結利益比較

營業利益 為替影響額
(-9.4億円 -30.1%相当)*

(單位: 百万円)



*為替影響除く、概算営業利益 4,224

販管費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

| | 第27期 | 第28期 | 対前期比較 | |
|----------|----------|----------|-------|--------|
| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 増減額 | 増減率 |
| 人件費 | 4,733 | 4,681 | △52 | △1.1% |
| 研究開発費 | 1,580 | 1,291 | △290 | △18.3% |
| 販促・広告宣伝費 | 1,963 | 1,921 | △42 | △2.2% |
| その他 | 4,263 | 4,490 | 227 | 5.3% |
| 販管費合計 | 12,540 | 12,382 | △158 | △1.3% |
| 売上高販管費率 | 39.1% | 37.4% | | |

主要増減項目

増加：航空貨物運賃、減価償却費(グローバルSCMの稼働)など

減少：賞与引当金、新製品開発費(前期は新製品発表が集中)など

事業ハイライト -1

タブレット事業

- 0.6%

プロフェッショナル タブレット - 3.0%

- ・ Intuos4が欧州で現地通貨ベース2桁成長を見せるも米国が苦戦、全体としては円高の影響により減少
- ・ 中国のグラフィックス市場の急速な成長により、アジア・オセアニアでの売上が日本と並ぶ

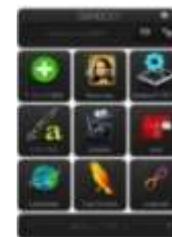
コンシューマ タブレット + 0.0%

- ・ Webマーケティング強化で台数は堅調に増加するも円高により売上げは前期並みにとどまる
- ・ 現地通貨ベースでは、米国が順調、欧州も堅調、中国が5割増を記録するなどアジアでは大幅増
- ・ ペンやタッチの利用分野を拡大するアプリケーション「Bamboo Dock & Apps」を無償ダウンロード提供
- ・ アプリケーションとともに国内外で高い評価を獲得
Plus X award、red dot award、グッドデザイン賞、Adobe Max他

intuos₄



BAMBOO[®]



Bamboo
Dock & Apps

事業ハイライト -2

液晶タブレット

+ 1.9%

Cintiq[®] 21UX
interactive pen display



- ・グラフィックス向けCintiq 21UXは世界的に好評、高精細液晶の供給量は改善するも、上回る受注が継続
- ・汎用向けは、上期は米国の文教向けOEM案件が好調、下期は国内の医療向けが回復、中国でも大型案件を獲得
- ・サインタブレットの採用増。2月にフロレンティス社(英)から電子サインソフトウェア事業を買収しソリューション化を推進

サインタブレット
STU-520



コンポーネント事業

+24.8%

- ・ Windows PC向けマルチタッチセンサーの量産により大幅に売上増、HP、レノボ、東芝、富士通、パナソニックなど20機種以上で採用
- ・ タブレット型端末へのコンポーネント採用が拡大
- ・ 無制限マルチタッチ対応ICコントローラの販促を開始

参考値:コンポーネント品種別売上高構成比率

| 品種 | ペンオンリー | タッチオンリー | ペン&タッチ |
|------------|--------|---------|--------|
| 2011年3月期累計 | 4 | 1 | 5 |

Wacom feel IT technologies

feel™

コンポーネント採用機種例

Windows 7対応PC



TouchSmart tm2



ThinkPad X201



Satellite M505



libretto W100

Android対応タブレット Linux対応電子ブック



FMV-MT/E50



Let's note CF-C1



J3500



Eee Slate



事業ハイライト -3

その他の事業

- 3.7%

電気設計CAD (ECAD dio) + 14.4%



- ・ 主力商品 ECAD dio 2011を9月より発売し好評
- ・ 電気制御から機械装置のハーネス設計を統合したソリューションに進化

プロフェッショナルDJ機器 (Nextbeat) -141.2%

- ・ トップDJアーティストから高い評価を受けたが販売は苦戦
- ・ 事業整理のため特別損失を今期末に計上（134百万円）

管理部門

- ・ インド現地法人Wacom India, Pvt. Ltd. を設立（10月、ニューデリー）
- ・ グローバルSCMシステムが順調に稼働、パートナーとのリンクを拡大
- ・ グローバルERPシステムの整備を継続（29期上期に稼働予定）
- ・ 日独APAが成立（移転価格税制への対応）
- ・ 東京証券取引所より第16回「ディスクロージャー表彰」を受賞

事業ハイライト -4

東日本大震災による影響と対応

東証開示として、下記の概要で報告

- ・ **人的被害**：従業員の全員無事を確認済み。
- ・ **事業所の被害**：本社(埼玉県加須市)の管理棟、工場棟が一部損傷、東京支社やその他事業所に被害なし。
- ・ **生産活動**：殆どの生産拠点は海外EMSにあり、当社工場も通常業務。部品供給は、プロ向け大型液晶タブレットの高精細パネルを除き、支障がないことを確認。被災地、周辺地域のパートナーとの協力を緊密にし、生産活動の影響を最小限に抑える
- ・ **停電対応**：自家発電装置の利用や出退勤時間の柔軟化。停電時も、エアコン以外の設備への電力供給は殆ど確保、生産活動に支障なし。

2011年3月期業績への影響

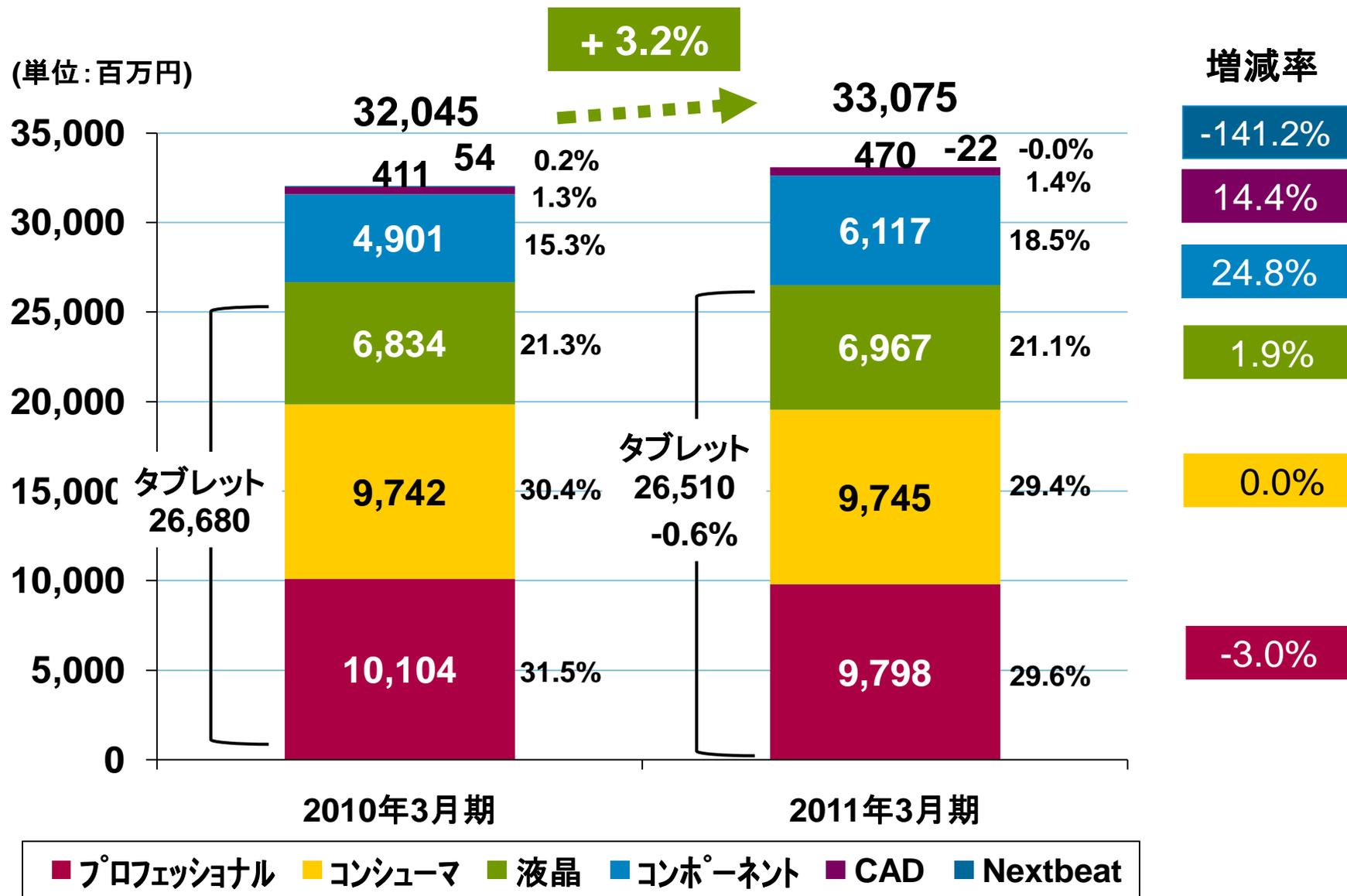
- ・ 本社工場棟の被災による災害損失として197百万円を計上
(内装の解体再工事および配管什器等の入れ替えを要する)
- ・ 連結ベースで義援金、寄付など 計15百万円

事業ハイライト -4

東日本大震災による本社被災状況

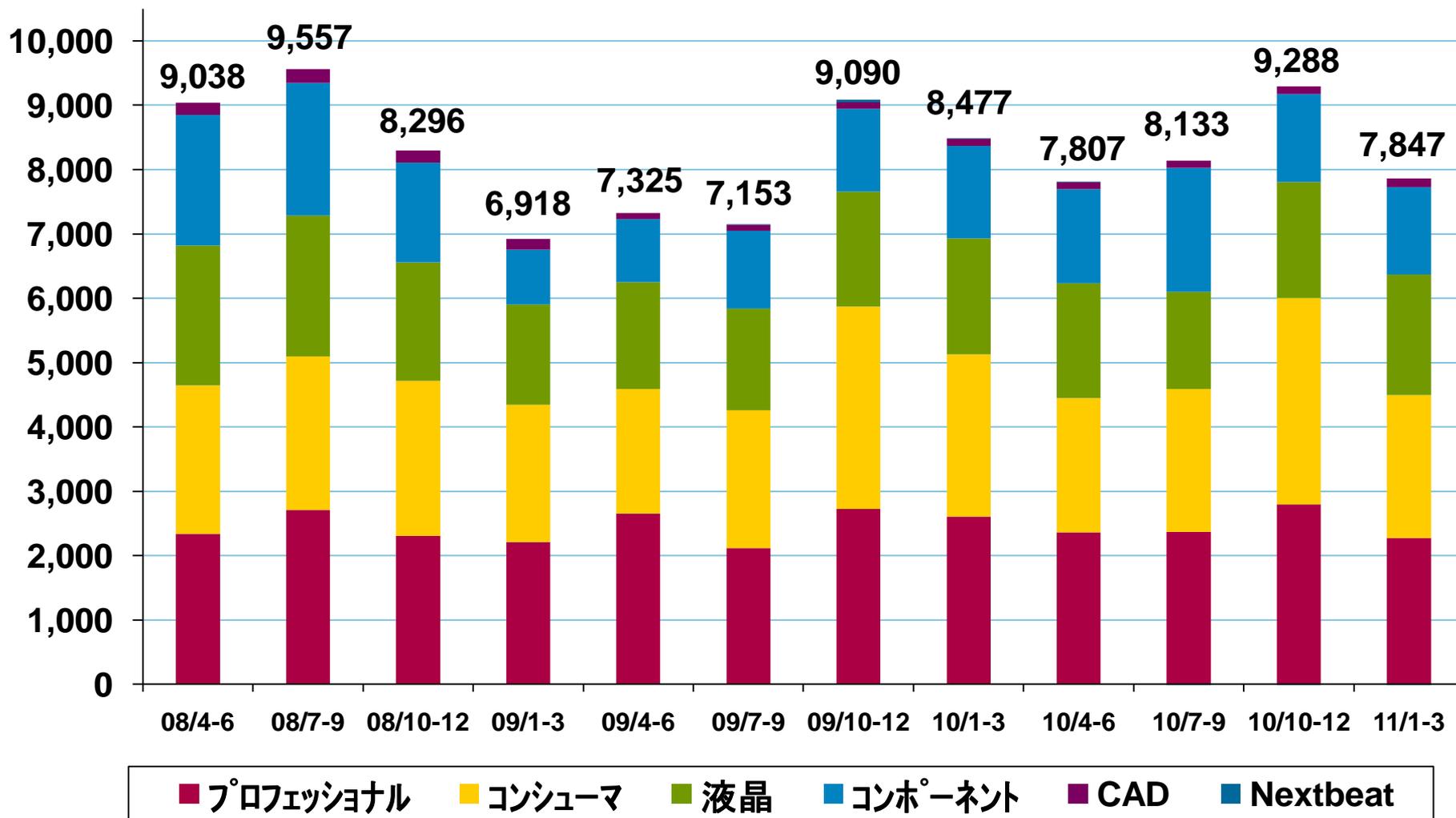


製品ライン別売上高

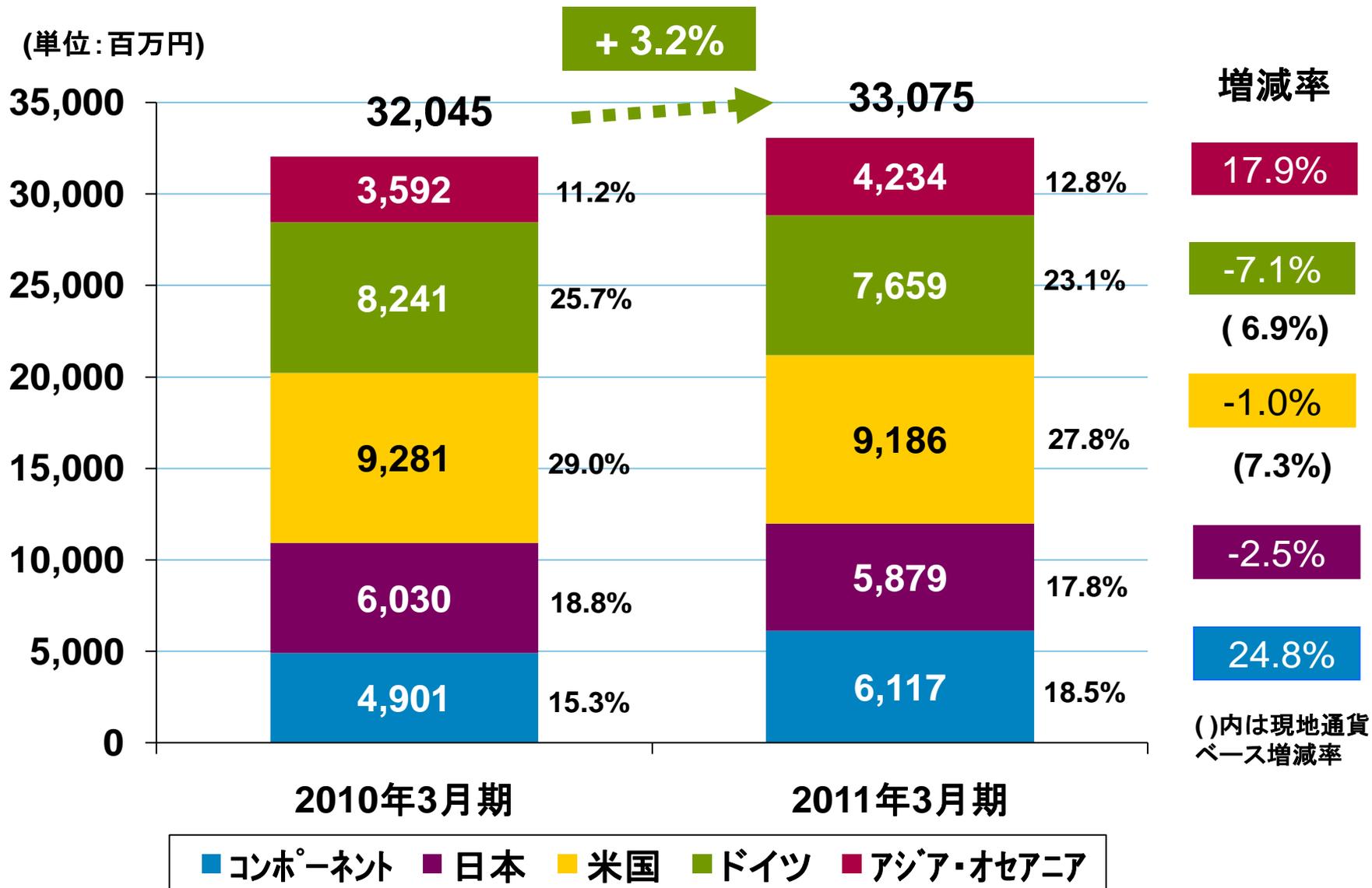


製品ライン別売上高推移

(単位:百万円)



所在地別売上高



所在地別売上高

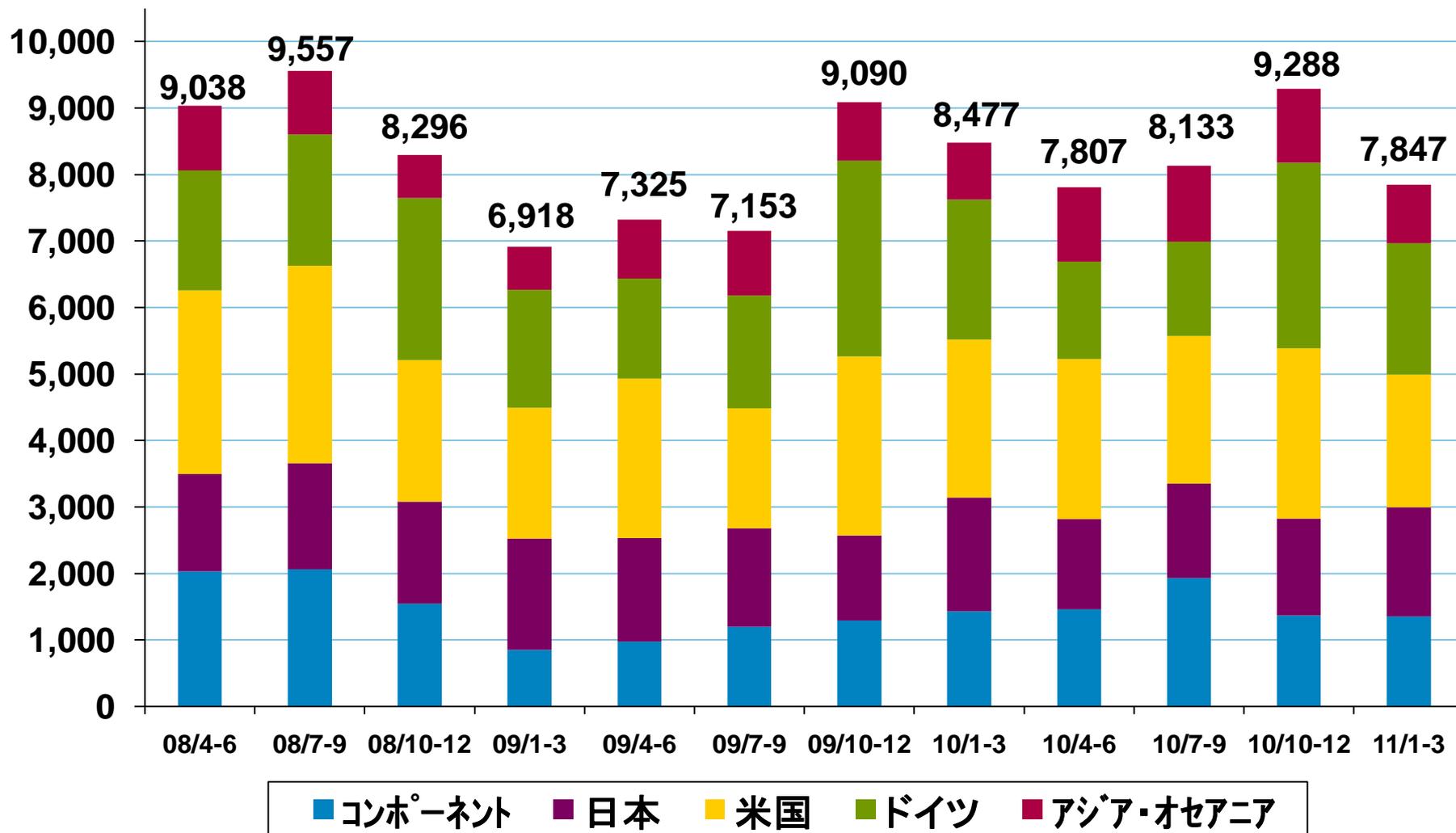
現地通貨ベースの売上高増減率

(2011年3月期累計 前期比)

- 米国 (USDドル) 7.3%
- 欧州 (ユーロ) 6.9%
- 中国 (中国元) 39.8%
- 韓国 (韓国ウォン) 18.5%
- 豪州 (豪ドル) -8.0%
- 香港 (USDドル) 3.3%
- シンガポール (USDドル) 28.1%

所在地別売上高推移

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 10年3月末 | 11年3 末 | 増減額 |
|--------------------|-----------|-----------|--------|
| 流動資産 | 22,824 | 20,991 | △1,833 |
| 固定資産 | 5,375 | 6,144 | 768 |
| 資産合計 | 28,199 | 27,135 | △1,064 |
| 流動負債 | 8,882 | 7,585 | △1,297 |
| 固定負債 | 1,048 | 1,027 | △21 |
| 負債合計 | 9,930 | 8,612 | △1,318 |
| 少数株主持分 | 0 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 18,270 | 18,524 | 254 |
| 負債純資産合計 | 28,199 | 27,135 | △1,064 |
| 自己資本比率 | 64.8% | 68.1% | 3.3% |
| 一株当たり純資産 (単位:円) | 45,467.55 | 46,020.10 | 552.55 |

資産

(単位:百万円)

- ・ 現預金の減少 △1,895
(主な要因)
・ たな卸し資産の増加
・ 法人税等の支払い増加 等
- ・ 売上債権の減少 △377
- ・ 無形固定資産の増加 836
(主な要因)
・ 自社ソフトウェア取得
・ フロレンティス社資産取得 等
- ・ たな卸資産の増加 777

負債

- ・ 仕入債務の減少 △989
- ・ 未払法人税の減少 △509

純資産

- ・ 利益剰余金の増加 781
(27期末13,061 ⇒ 28期末13,842)

連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

| | 第27期 | 第28期 | 対前期 比較 |
|---------------|--------|--------|-----------|
| | 10年3月期 | 11年3月期 | 増減額 |
| 営業活動 | 3,606 | 1,179 | △2,427 |
| 投資活動 | △805 | △1,470 | △665 |
| 財務活動 | △1,199 | △1,202 | △3 |
| 現金に係る 換算差額 | △266 | △402 | △136 |
| 現金増減額 | 1,336 | △1,895 | △3,231 |
| 現金期首残高 | 11,014 | 12,350 | 1,336 |
| 現金期末残高 | 12,350 | 10,455 | △1,895 |

営業活動

(単位:百万円)

- ・ 税引等調整前当期純利益 2,985
- ・ 減価償却費 749
- ・ 法人税等の支払額 △1,338
- ・ たな卸資産の増加 △945
- ・ 仕入債務の減少 △878

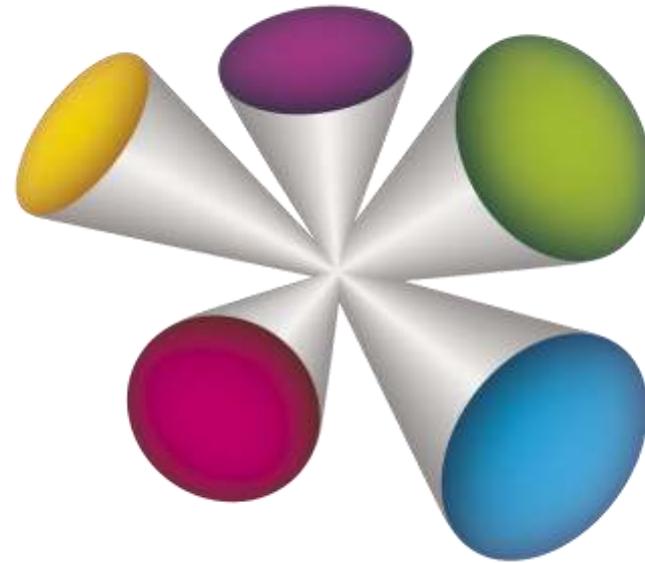
投資活動

- ・ 自社ソフトウェア取得 (グローバルERP等) △782
- ・ 有形固定資産取得 (金型等) △409
- ・ 事業買収に伴う支出 (フロレンティス社) △292

財務活動

- ・ 配当金支払額 △1,202

第29期(2012年3月期) 基本方針と主要施策



第29期(2012年3月期)の基本方針

● 事業環境

- 世界経済は回復基調にあるも不透明感が拡大
新興地域が引き続き成長を牽引、米国の景気回復も継続へ
中東情勢不安定化による原油高騰と欧州金融不安
震災による国内景気減速と製造業への影響
- 成長エンジンは先進国から新興地域へ
米欧の成長回復は鈍化、日本は震災の影響で景気減速へ
中国、インドは高成長を維持し、影響力も拡大
- スマートフォン・タブレット・電子書籍が成長を牽引
iPad、Androidタブレットが成長を牽引、Windowsタブレットも増加
Windows PCマーケットの成長は減速
Webアプリの性能が向上、タブレット型端末の業務用途への拡大
マルチタッチが標準ユーザインターフェースに
- ペンタブレットの競合環境が変化
一部のプロ市場へ競合参入の可能性

第29期(2012年3月期)の基本方針

● 当社の基本戦略 -1

● 震災対応と事業リスク管理を継続

本社の復旧と改善、製造・SCM基盤の確保、節電対応など
パートナーとの連携による製品供給の確保とSCMリスクの管理

● タブレット事業のグローバルリーダーシップ強化

プロフェッショナル市場への新製品の投入

コンシューマ市場への新製品投入

新興市場の拡大とブランド強化

タブレット型端末へのペン製品投入と市場拡大

セキュリティーソリューションの拡大

● コンポーネント事業の成長

スマートフォン、タブレット型端末分野への事業拡大

Windows PC市場での利用の継続的拡大

ペンとマルチタッチ技術の更なる革新とコスト競争力強化

第29期(2012年3月期)の基本方針

● 当社の基本戦略 -2

● 新興地域での成長加速

中国、インドなどの新興市場の拡大
組織強化、人材育成と事業基盤の拡大

● 事業構造の変革と競争力の強化

管理部門のグローバル本社化
グローバルブランディング活動の推進
SCM・QA機能の現地化とODM活用の推進
基礎技術開発の強化とアプリケーション開発能力の向上
グローバルERPの実稼動(上期予定)

連結損益業績予想の前提

- 大規模余震の発生やパートナー各社に大きな問題が今後発生しない。
- 大震災による部品供給の影響は、プロ向け大型液晶タブレットの高精細パネルを除き、支障とならない。
- 生産に関しては、今後のパートナー各社の状況によるが、大きな支障は生じない。
- 東日本大震災後の市場動向については、国内市場への影響を考慮し、4月中旬に実施したレビューに基づく。
- 上期は高精細液晶パネルの供給難や国内需要減速が見込まれるが、下期は供給が正常化し、需要も回復する。

連結損益業績予想の前提

- 為替想定レート的前提（通期平均）

1 USD = 82.5円、1 EUR = 120円

- 為替感応度予想（通期12ヶ月）

中国元、韓国ウォン、豪ドルがドルリンクと想定

（単位：百万円）

| 通貨 | USDドル | ユーロ |
|--------|-------|-----|
| 感応度の単位 | 1円 | 1円 |
| 売上高 | 240 | 80 |
| 営業利益 | 30 | 60 |

※ 各通貨が1円の円高の場合はマイナス、円安の場合はプラス

連結損益予想

(単位:百万円)

| | 第28期中間期 | | 第29期中間期 | | 対前年同期比較 |
|-------|------------|------|------------|------|---------|
| | 2010年4-9月期 | | 2011年4-9月期 | | 増減率 |
| 売上高 | 15,940 | | 15,200 | | △4.6% |
| 営業利益 | 1,188 | 7.5% | 400 | 2.6% | △66.3% |
| 経常利益 | 1,353 | 8.5% | 375 | 2.5% | △72.3% |
| 当期純利益 | 877 | 5.5% | 240 | 1.6% | △72.6% |

| | 第28期 | | 第29期 | | 対前期比較 |
|-------|----------|-------|----------|-------|-------|
| | 2011年3月期 | | 2012年3月期 | | 増減率 |
| 売上高 | 33,075 | | 36,500 | | 10.4% |
| 営業利益 | 3,284 | 9.9% | 3,700 | 10.1% | 12.7% |
| 経常利益 | 3,396 | 10.3% | 3,650 | 10.0% | 7.5% |
| 当期純利益 | 1,987 | 6.0% | 2,340 | 6.4% | 17.8% |

上期減益要因：震災の影響による売上げおよび利益減、新製品開発費など

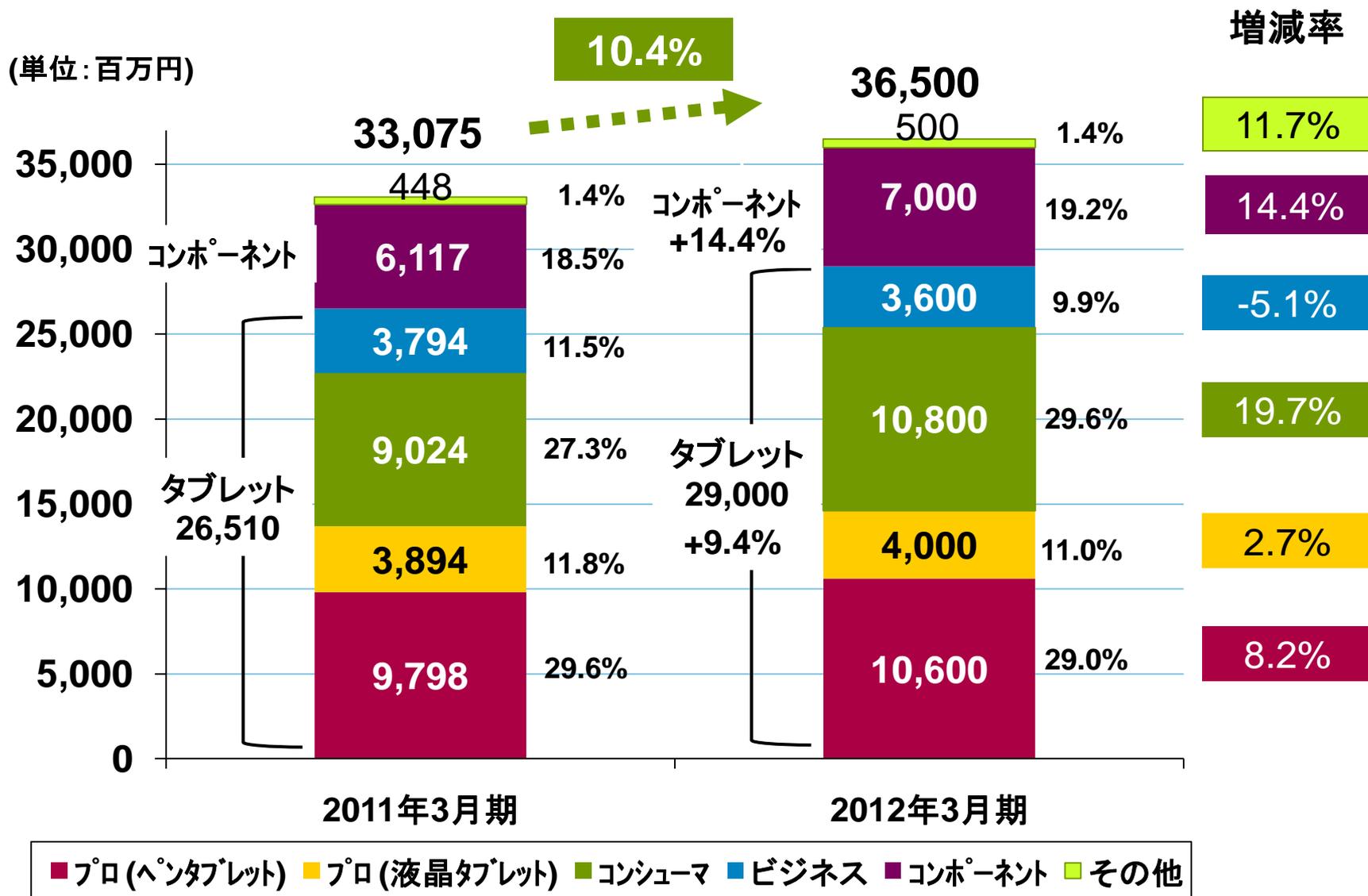
製品開示セグメントの変更

- タブレット事業は、平成24年3月期より用途別に「プロフェッショナル製品」、「コンシューマ製品」、「ビジネス製品」の3区分に再編
- Cintiqシリーズは「プロフェッショナル製品」に変更
- コンシューマタブレットの一部は「ビジネス製品」に変更

| 28期(平成23年3月期) |
|---|
| タブレット事業 |
| プロフェッショナルタブレット |
| Intuosシリーズ |
| コンシューマタブレット |
| Bambooシリーズ (一部文教向け製品) |
| 液晶タブレット |
| Cintiqシリーズ 汎用DTシリーズ サイン認証用STUシリーズ |
| コンポーネント事業 |
| その他の事業 |
| CADソフト、DJ機器 |

| 29期(平成24年3月期) |
|--|
| タブレット事業 |
| プロフェッショナル製品 |
| ペンタブレット |
| Intuosシリーズ |
| 液晶タブレット |
| Cintiqシリーズ |
| コンシューマ製品 |
| Bambooシリーズ |
| ビジネス製品 |
| 汎用DTシリーズ サイン認証用STUシリーズ 文教向けタブレット製品 |
| コンポーネント事業 |
| その他の事業 |
| CADソフト・その他 |

連結損益予想 セグメント別売上高



第29期(2012年3月期)配当金見込み

- **配当の基本方針**

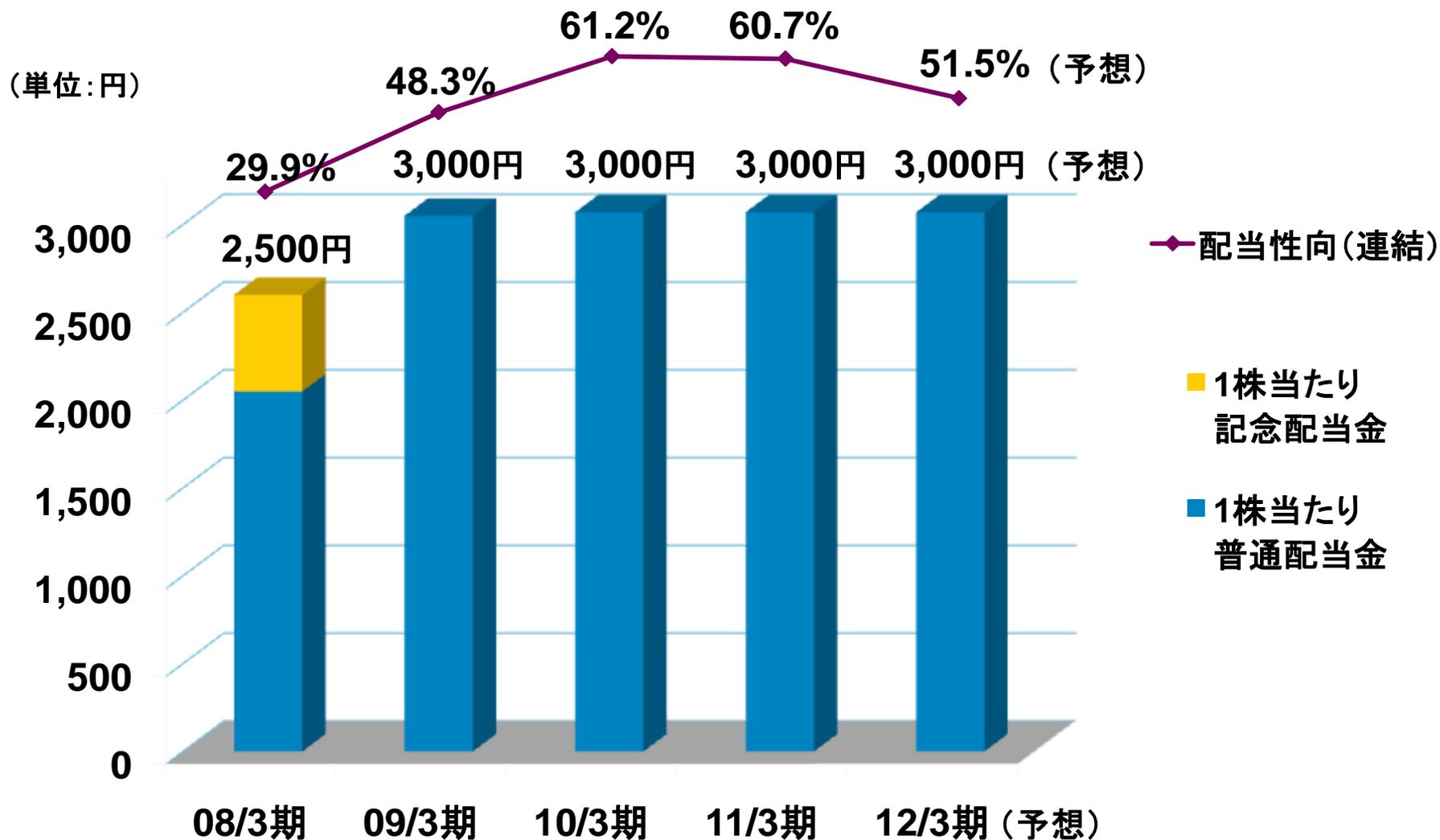
- 将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する
- 配当性向は連結ベースで30%以上を目標とし、継続的な向上を目指す

- **1株当たり配当金**

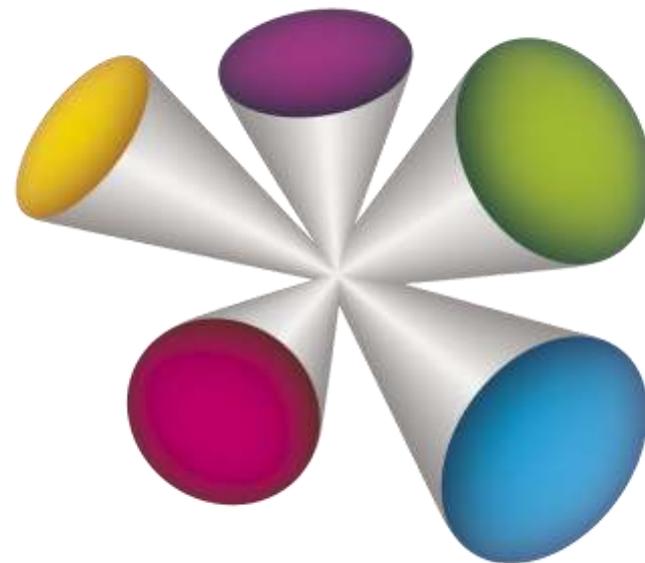
- 配当金 3,000円
- 配当性向 51.5%

(2009年3月期取得の自己株式 20,000株控除後)

一株当たり配当金推移



新中期経営計画について



新中期経営計画 –WP1015

WP1015: 財務目標

- 当社31期 (2014年3月期)までに
連結売上高: 1,000億円以上
連結営業利益率: 15%以上



28期(2011年3月期)の経営実績と事業環境の急速な変化、
今般の大震災の影響等を勘案すると当初計画の達成は難しく、
同計画の見直しが必要。

当面は事業リスク管理を優先しつつ、売上げの成長と営業利益
率の改善および年次計画の確実な達成を目指す。

新しいUIの時代へ

世界のどこでも
だれにとっても
シンプルで、直感的で
分かりやすく、楽しく
いつもつながっている



Simple, Natural, Intuitive.

Fun & Connected

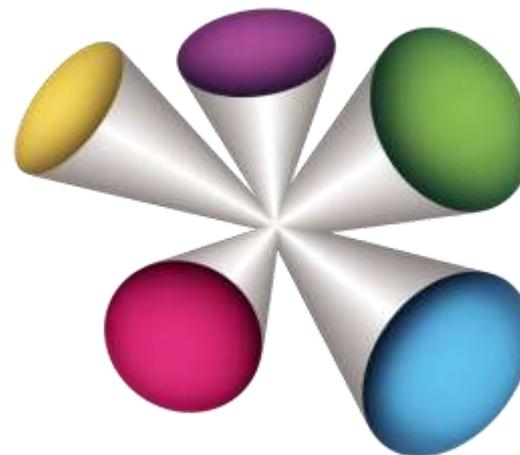


Open up.
Sense more.



本資料のお取扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展などにより変動する事があります。従いまして、実際の業績などが本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。



株式会社ワコム 総合企画本部 IR室
TEL : 03-5309-1525 FAX : 03-5309-1503
〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー21階